







彼女は藤谷千影
僕の幼馴染だ

ほんとオレが
ついてねえとダメ
だな、お前

気弱な僕と違って
男らしく物怖じせず



幼い頃からずっと
何かあるたびに僕を
守ってくれた

僕は彼女のことを
好きだ

でも今のままの僕では
彼女に釣り合わない

だから

僕も彼女のように
男らしくなっていつか
この想いを伝えたい

それが今の
僕の目標だ





ははははッ！
わりいわりい
じゃあ勉強すつか

うっわ
誤魔化しやがった

そ、それより
勉強しようよ

もうッ！
千影ちゃんッ！

なあ…
ここは…

ああ、
そこはね

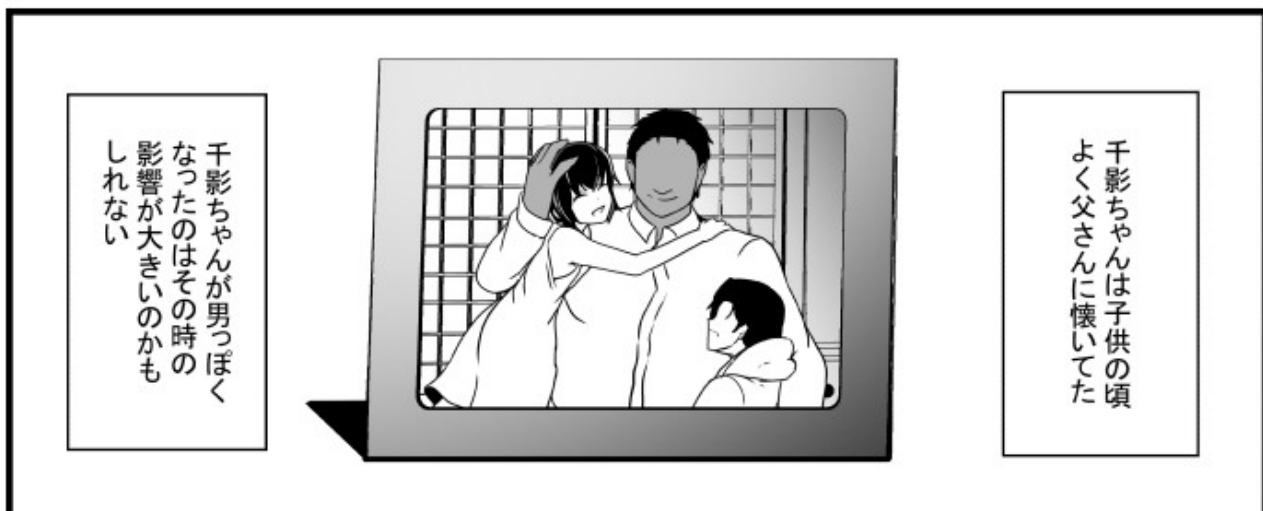
なるほどな
サンキュー

おおう
昂いるか？
帰ったぞ

ガ
チ
ャ

ド
タ
ド
タ











ごめん！先生から色々頼まれて
断れなくて少し遅れるかも。
今日父さんが仕事休みで
父さんが家にいるから先に家に行ってて

はあ？お前またかよ
俺が断りに行って
やろうか？

いやいいよ
直ぐに終わるから
ほんとごめん

まったくもう
あのバカ…

今日もオレと
勉強するって
約束だったろ

でもそっか

今日は
おちゃん仕事
休みなんだ

あいつが帰ってくるまで
久しぶりにおちゃんと
話でもすっかな





今日もあいつと
一緒に勉強か？
頑張ってるな

あいつが帰ってくるまで
昂の部屋で待つてなさい
後で何か持って行つてやる
から

な、なあ
おっちゃん

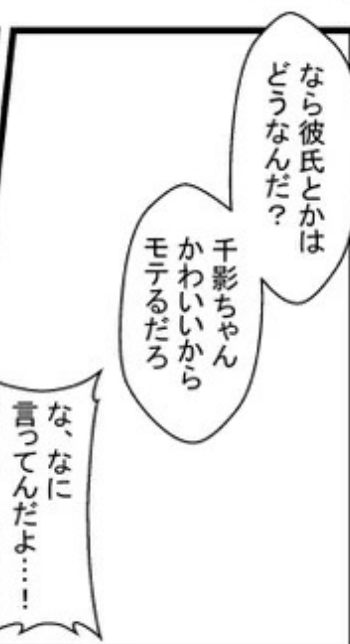
少し話そうぜ

おおッ！
いいぞ

そうだな
昂が帰ってくるまでの
暇つぶしに俺が
付き合つたる

おっちゃんの手！
おっきくてあったかい……
昔のままで









それがこんなに
立派になって…
時の流れを実感する

寂しいような
嬉しいような複雑な
気分だ



おっちゃん…



こりや俺も
歳を取るわけだ





やっぱりおっちゃんの
体でっけえな

おっちゃんの体
あったかい...



それにおっちゃんの匂い
相変わらず男くさくて濃い
こんなに近くで
嗅ぐの久しぶりだろ

もわぁ



な、なあ...
おっちゃん...?

ポケットに何か
入れてたりする?



...いれてねえな

もじ



じゃ、じゃあ
お尻の下のこれって...
そういうこと?

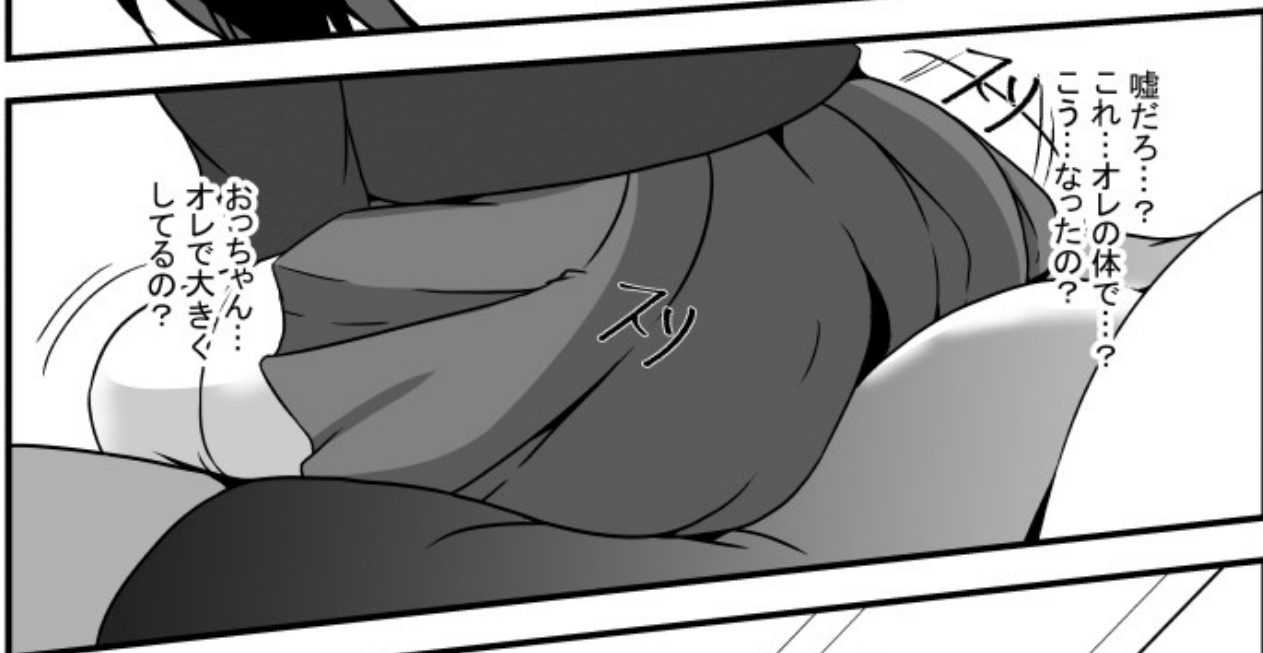
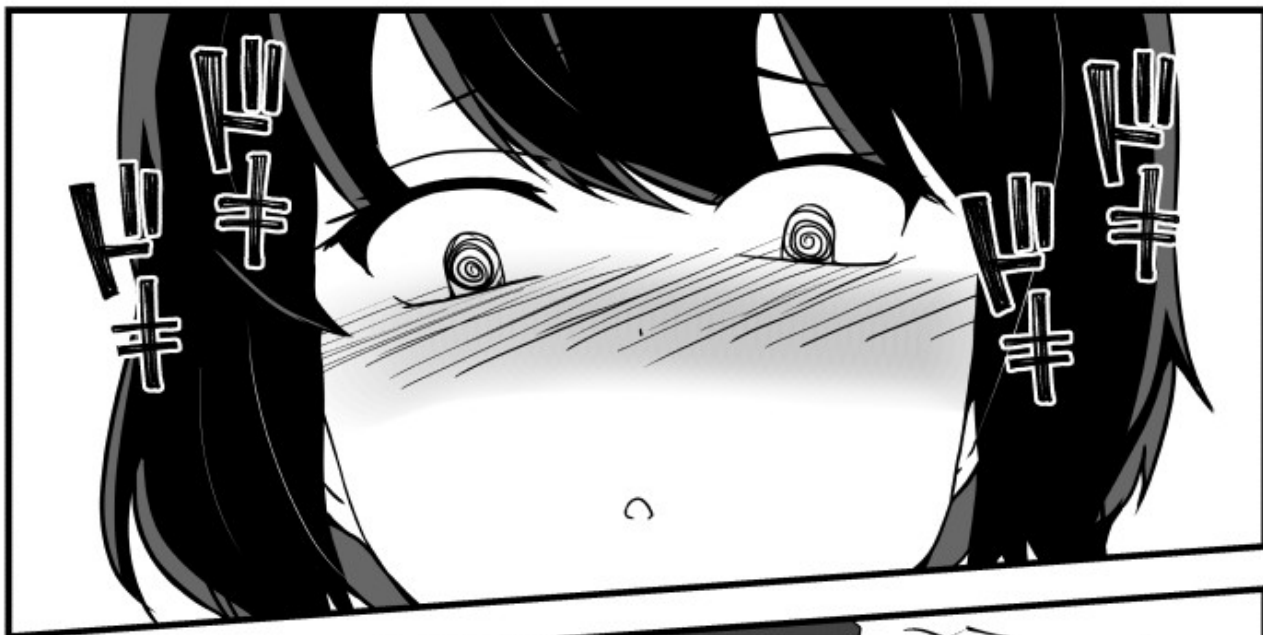
な、なんで
おつき...

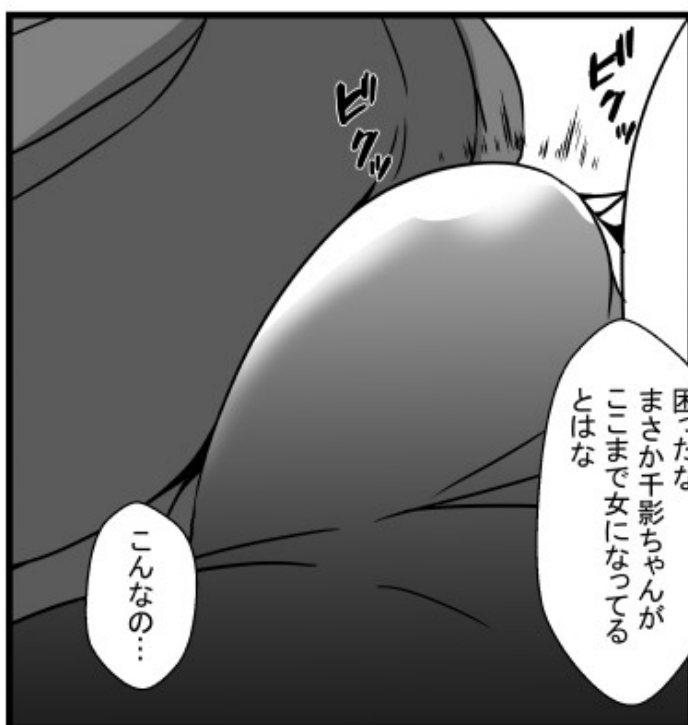


はあ...まあな
そういうことだ

だからやめると
言ったんだが...
軽蔑しただろ?

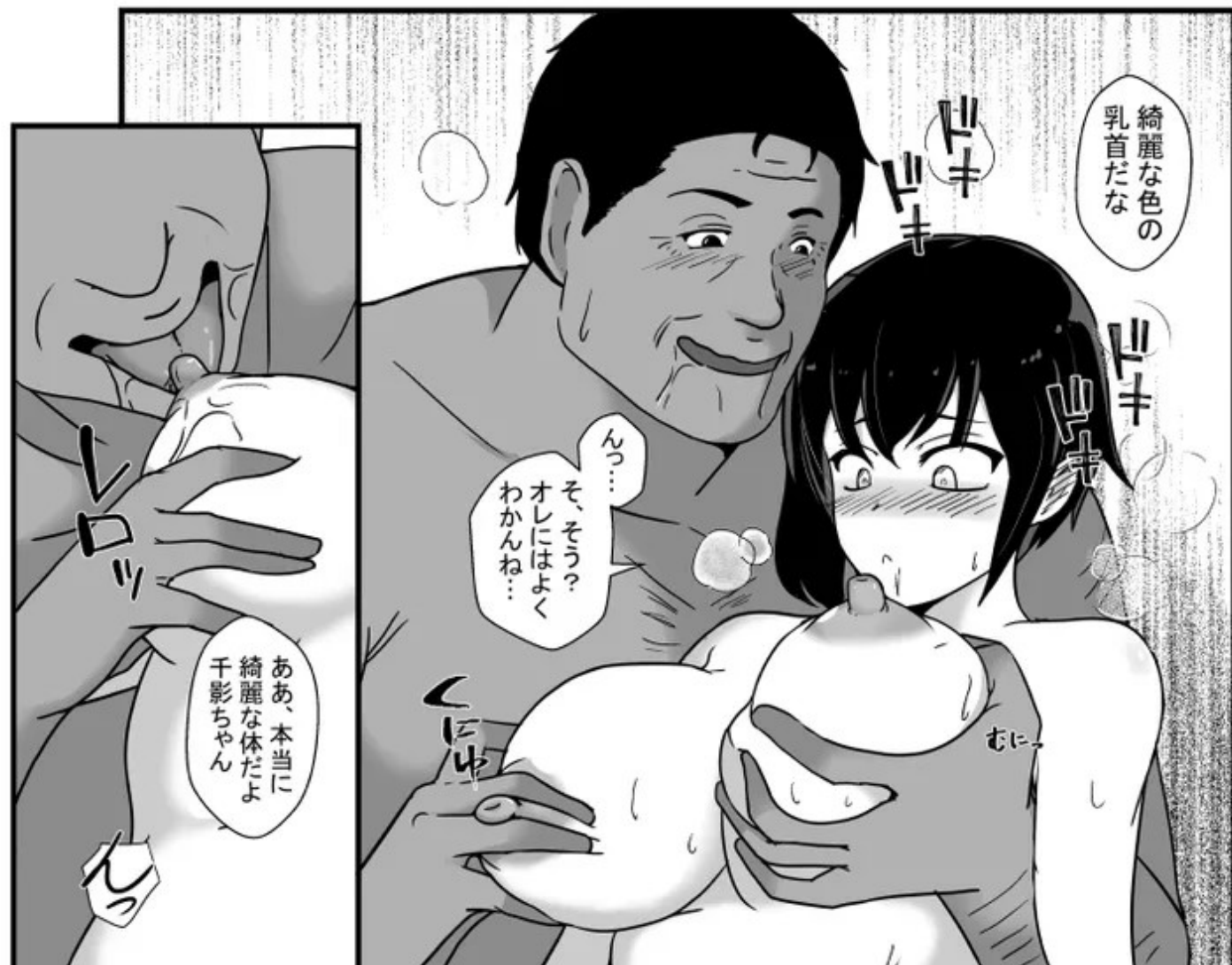
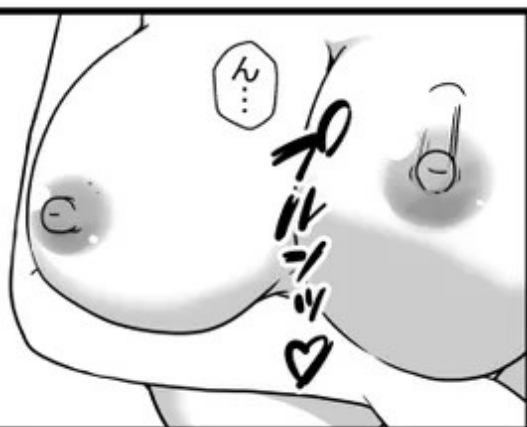
...













あつ...あ...
んんっ...

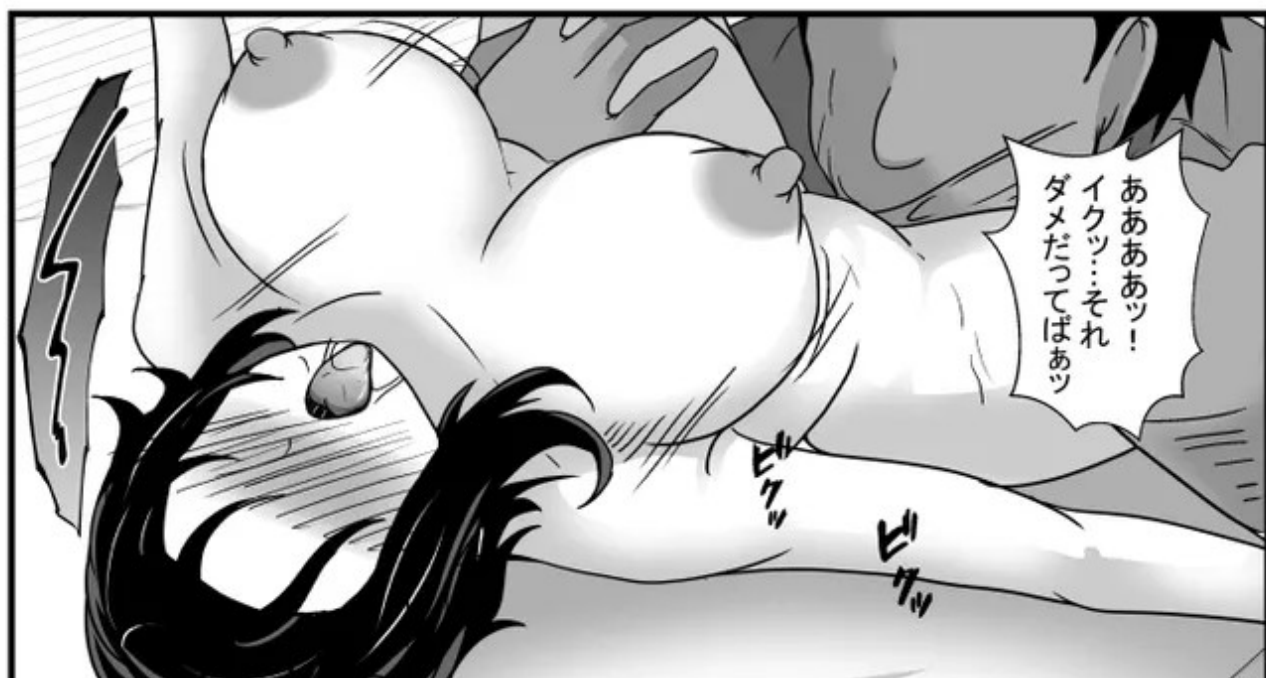
んう...あッ
おっちゃん...そこ
ダメ...

なんだ千影ちゃん
もうこっちの方は
ビショビショだな

おっちゃんの手
気持ちいい

おっちゃんにオレの
おっぱいを舐められながら
あそこ弄られて...







奥まで一気に
入れるぞ

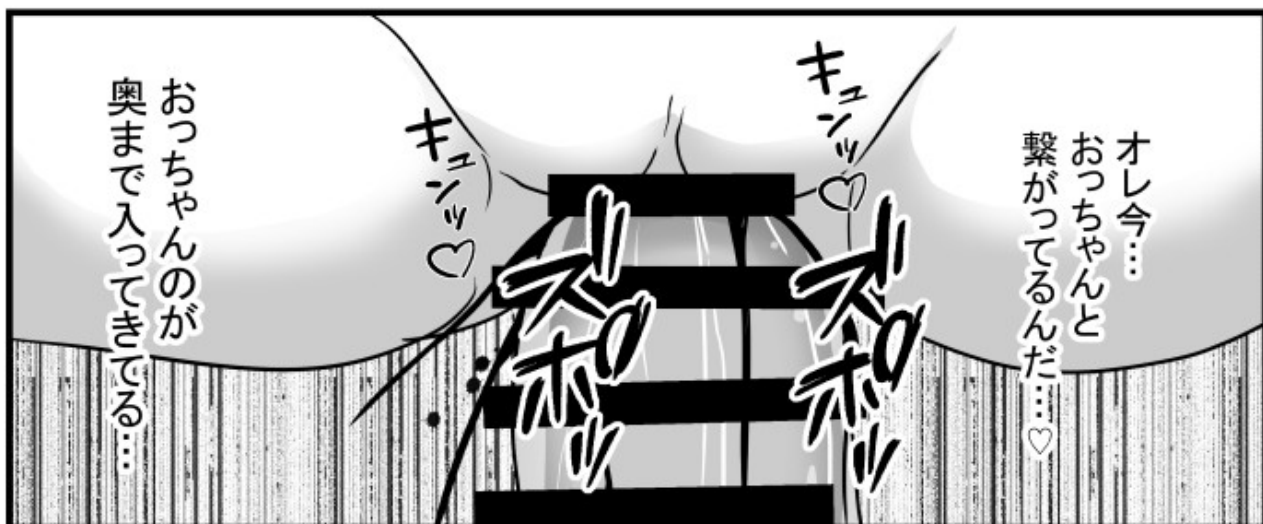
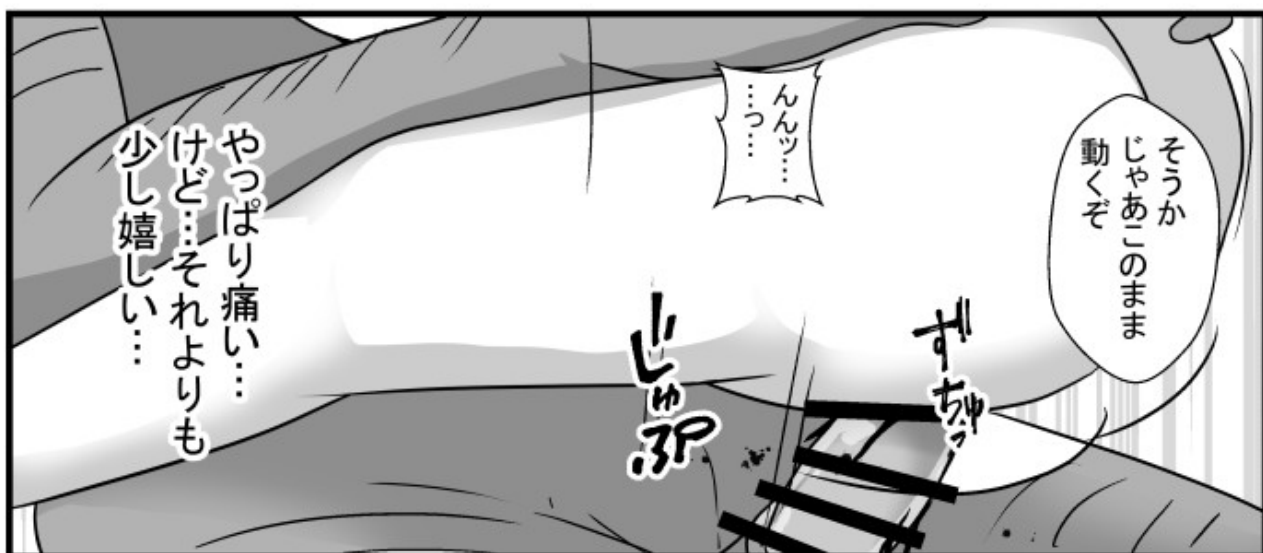
あああッ！

これが千影ちゃんのおまんこの形か
流石にキツキツで
狭いな

オレの中に
おっちゃんの
入っできてる

なにこれ
痛い！
股が裂けそう

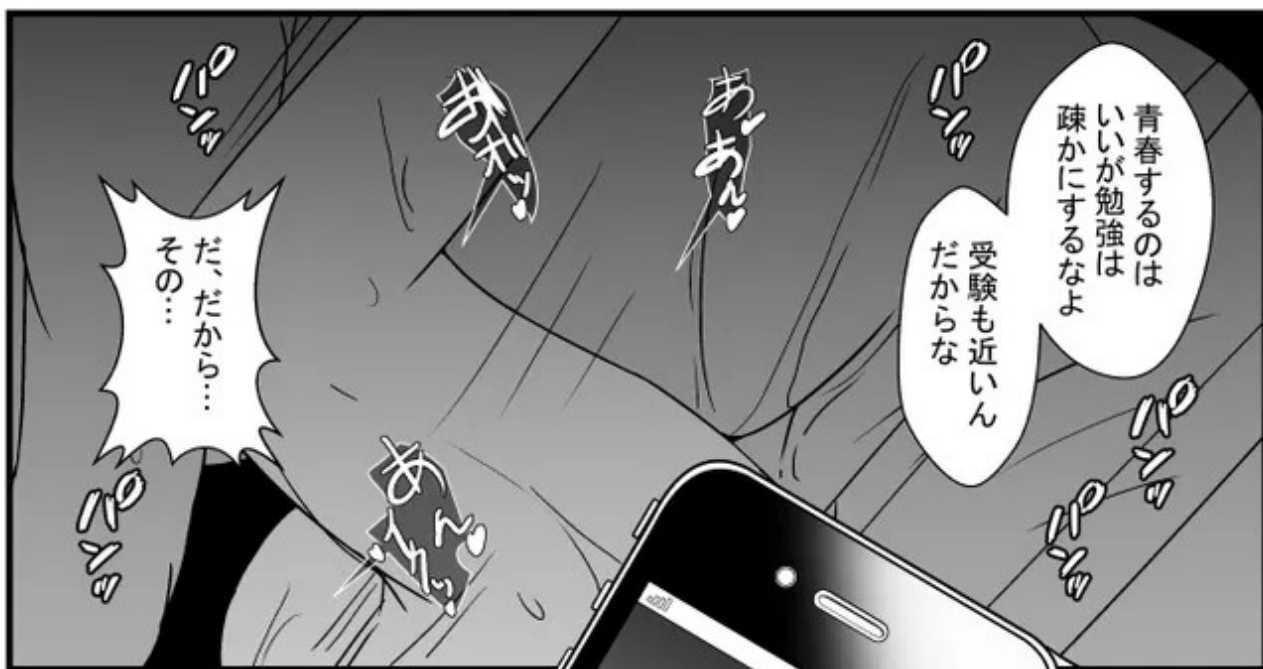








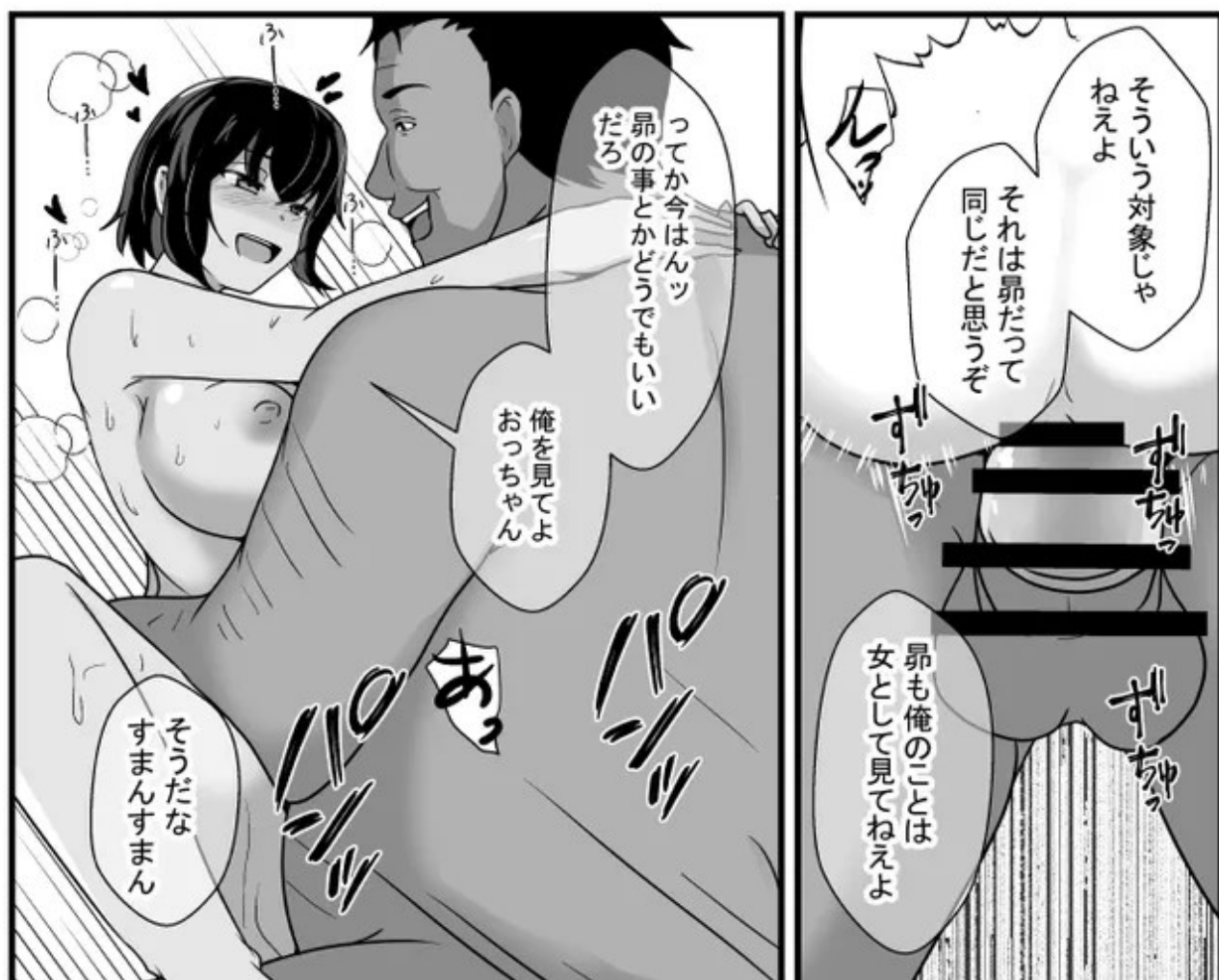




まあ父さんが
いるから大丈夫か

昔から千影ちゃんは
父さんに懐いてたし
きっと返信を忘れるくらいに
話に盛り上がってるのかも



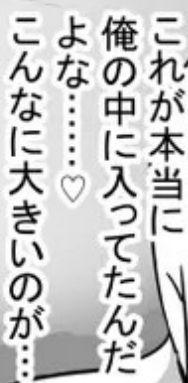
















酷いよ
おっちゃん…
いきなり…

す、すまん
千影ちゃん…
苦しかったか

うん、すつこく
苦しかった!

ほんと
すまん



これがおっちゃんの
精子の味…



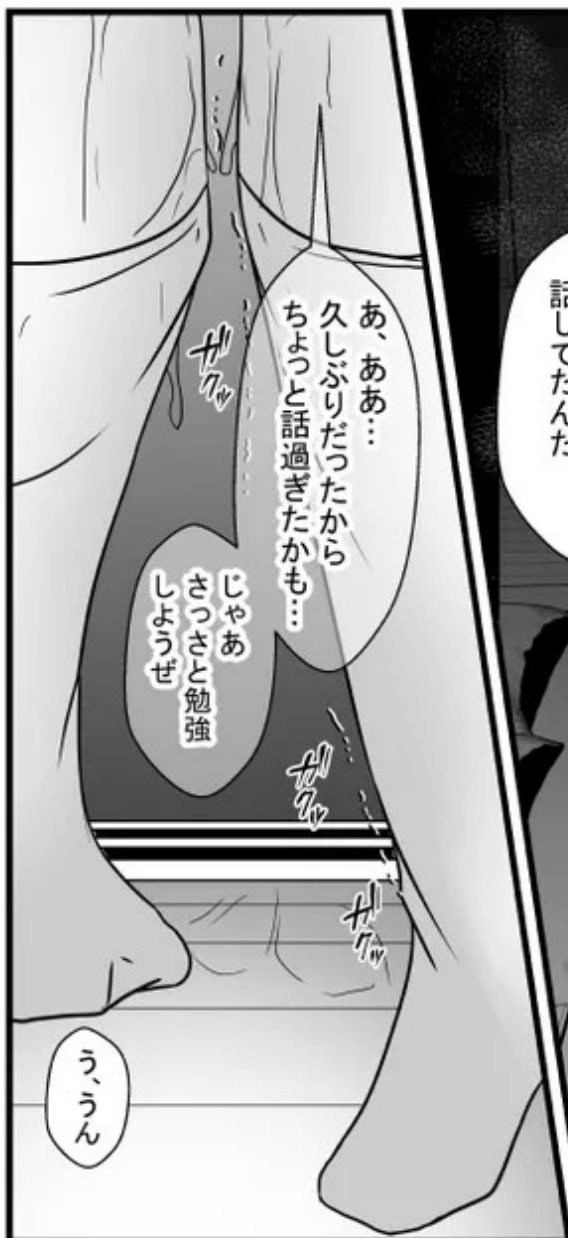
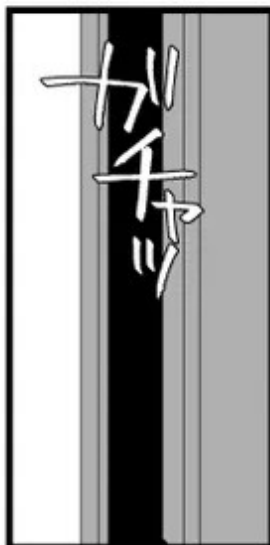
濃すぎて
全部飲みきれない



まったく…
オレだって女なんだから
もっと優しくしろよ
バカ…

普段はあんなに優しい
おっちゃんに
乱暴に扱われるの
ちよつといいかも…











なんだ我慢
できなかったのか

まったく…
スケベな子だな

あ
おんっ
おんっ

だて
親
ないから

あ
また
ッ









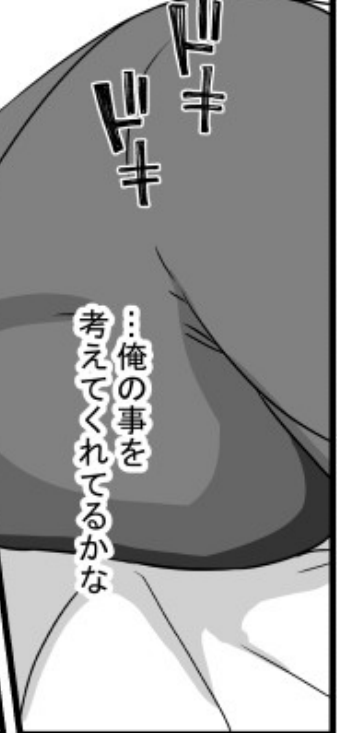
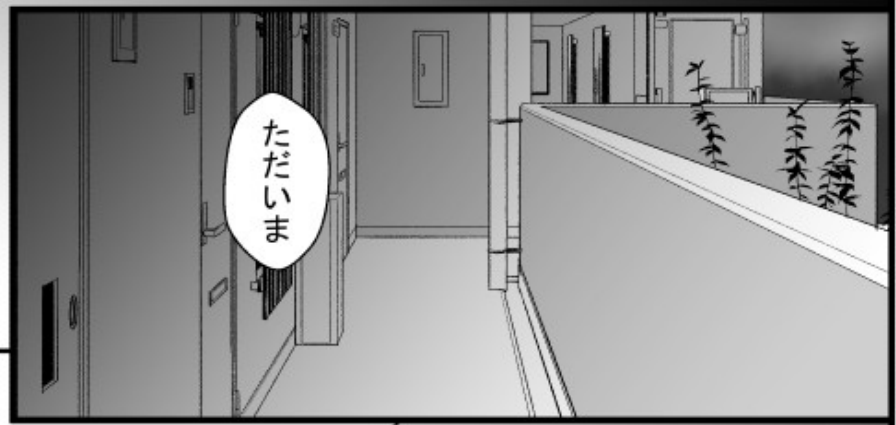
昴が帰ってくる
までには済ませない
とな

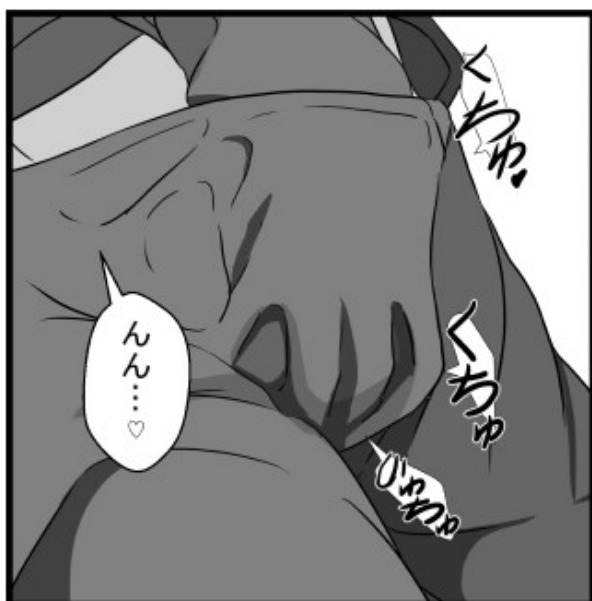
あつ…♡
おっちゃん…
それやば…

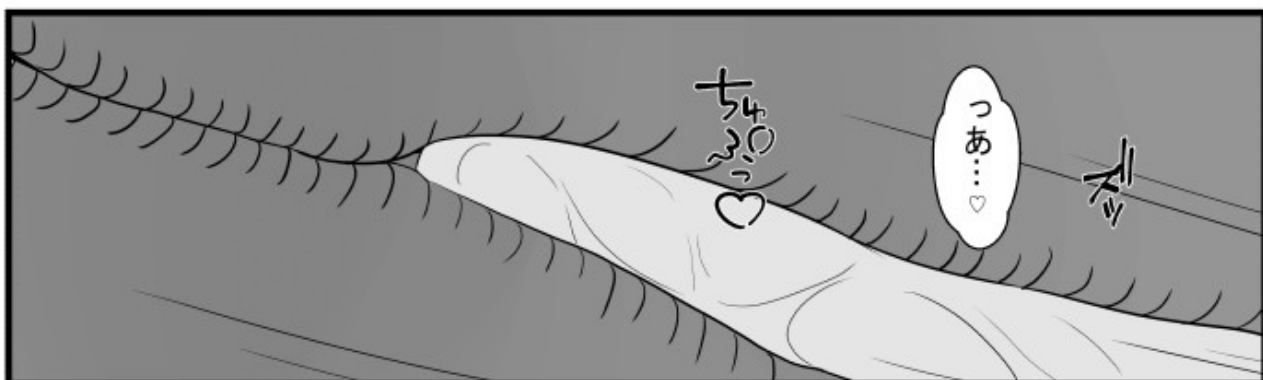
にしても
本当にエロいな
千影ちゃん

おっちゃんに
後ろからされるの
獣みたいで好き

これすっごく
気持ちいい







ダメだ…
全然イケない…

トキ

こんなにも
濡れてるのに

もう俺の体
おっちゃん
のじゃないと…
ダメなのかも

俺の
カラダ
どんどん
エッチ
になってく

そういえば
明日は昴は
合宿だっけ

明日は二日中
おっちゃんと一緒に
いられるな！♡



っあ…

そんなにむしゃぶり
ついてなんか
おっちゃん
赤ちゃんみたいだな

ちよつと
可愛いかも

はぁ♡

はっ♡
なんだと

赤ちゃんは
こういうこと
しないだろ

それにしても
胸だけでこんなに
トロトロになるとは

おっちゃんだって
もうこんなに力チカチに
してるじゃん

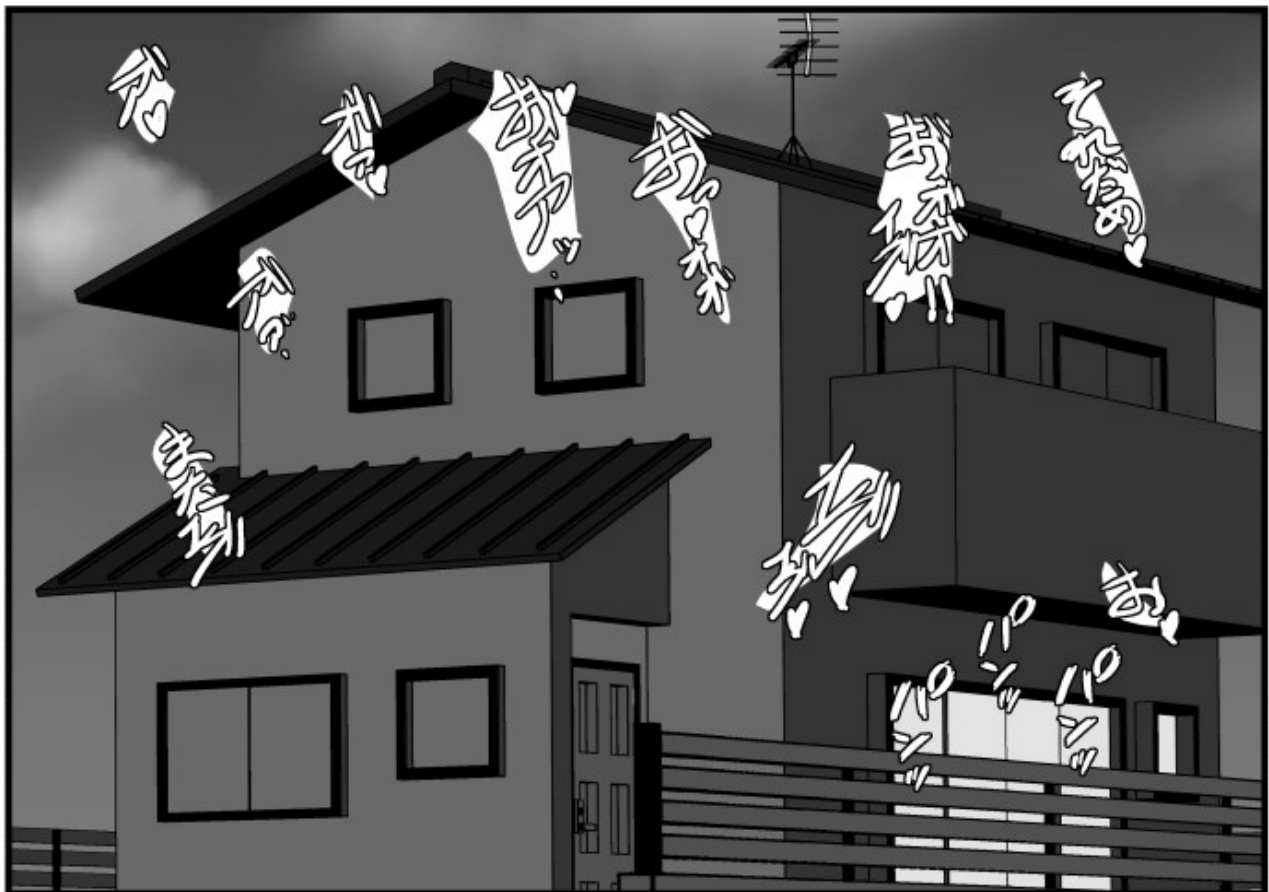
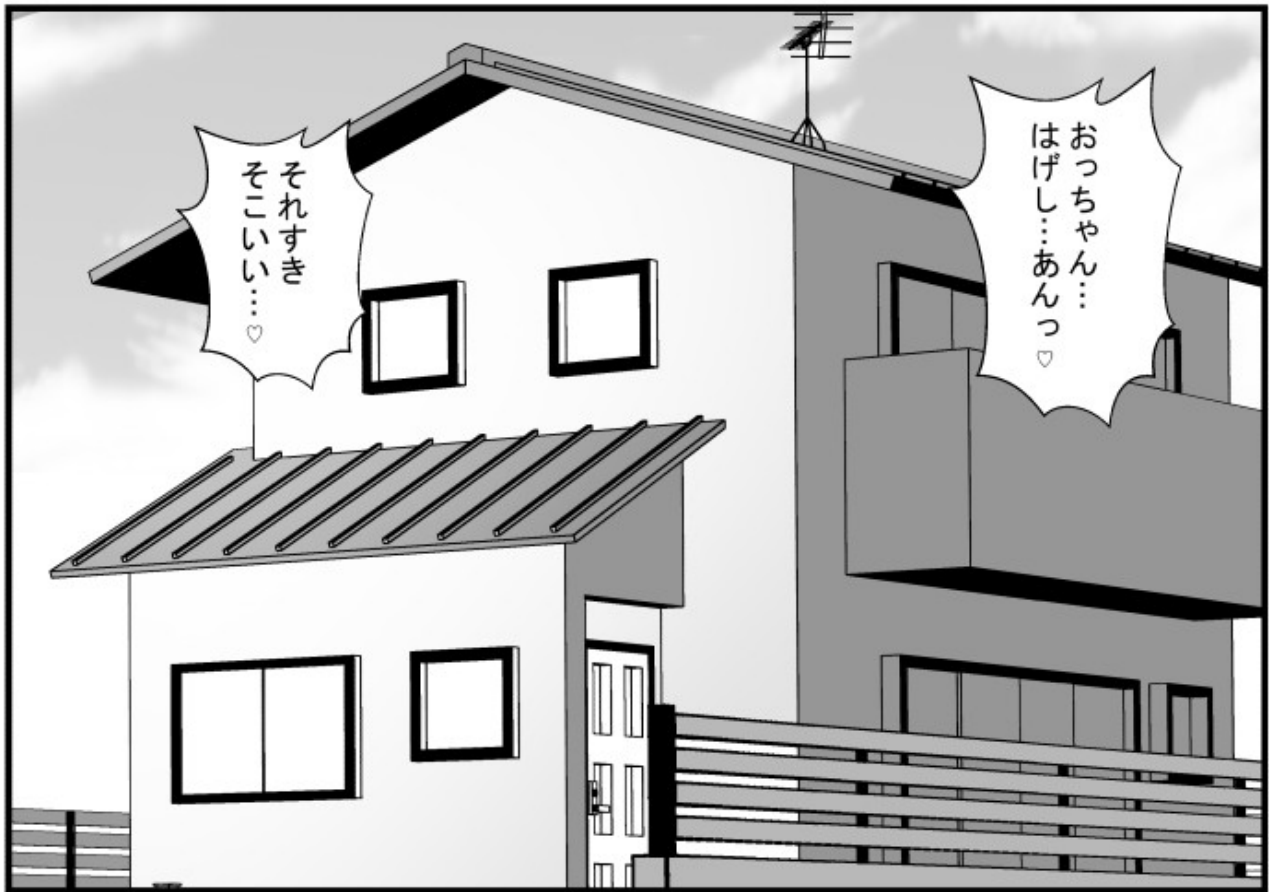
そりゃ千影ちゃんの
体がエロすぎるからな

…♡









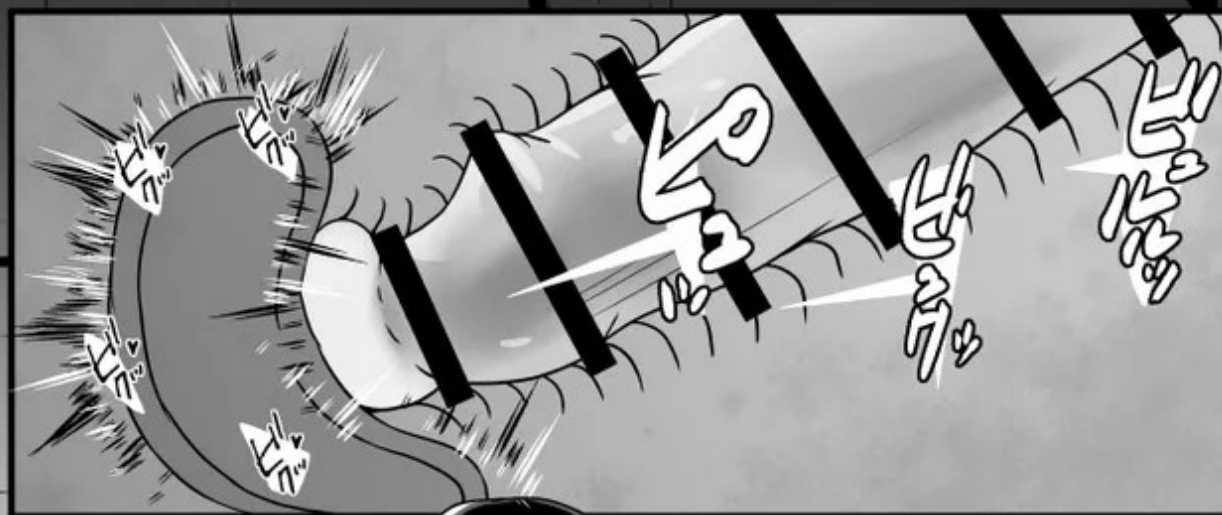


ぐおおおッ
また精子が上がってきた
千影ちゃんッ！

千影ちゃんッ！
可愛いぞッ！最高だ
そんなことを言っ
てくれるなんて…！

おっちゃん♡
すごい興奮してる♡
嬉しい…♡





最近、藤谷
可愛くなったよな
ってか色っぽくなったよな

わかる

もしかして
彼氏ができたんじゃないか

まさか
あの藤谷だぞ

でも女が急に
色気づくって
そういうことだろ

前は怖くて
おっかなかったけど
最近なんかいい

そういえば黒田は
あいつの幼馴染だろ

何か知ってる？

いいや僕は
何も知らないよ

千影ちゃんに
彼氏...？

そんなのは
ないはず



千影ちゃんに
彼氏なんて正直
考えたこともなかった

千影ちゃんは
昔から男勝りで
周りの男子からは
異性として見られて
なかった

だから安心して
いたのかも

千影ちゃんの
良さを知ってるのは
僕だけだと



おい昂



でも最近よく
僕の知らない顔を
するようになった

もしかして…



ご、ごめん
千影ちゃん

何でもない



なんだよ
お前

さつきから
ぼーっとして全然
俺の話聞いてないだろ

何かあったのか？





でもやっぱり
楽しい

昔から
変わらない

僕やっぱり
千影ちゃんが
好きだ





また遊びに
いこうな

う、うん…

どうだ？
良い息抜きに
なったら



千影ちゃん…
今日はありがと
楽しかったよ



ち、千影ちゃ…

あ、わりい
メッセきた



千影ちゃんだってもう
年頃の女の子なんだ

いつか…なんて告白を
先延ばしにしてたら
きっと誰かに取られる

それなら僕は
今ここで…



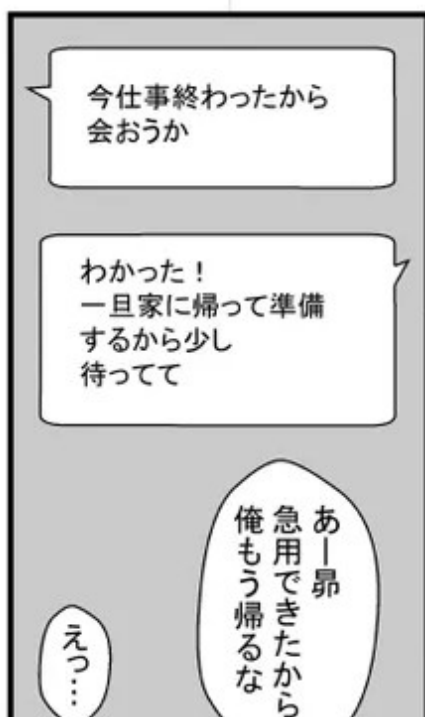
これって良い
雰囲気なのでは…

ドキ
ドキ



う、うん
わかった

まただ…



今仕事終わったから
会おうか

わかった！
一旦家に帰って準備
するから少し
待ってて

えっ…

あー昂
急用できたから
俺もう帰るな





千影ちゃんの
あの表情…

お待たせ
おっちゃん

なんだ
わざわざ着替えて
きたのか

誰からの…
連絡だったんだろ



ど、どうかな

俺には似合わない
かもしれないけど

う、うん
お、女の子っぽい服を
買ってみたからさ



じゃあ
行くか

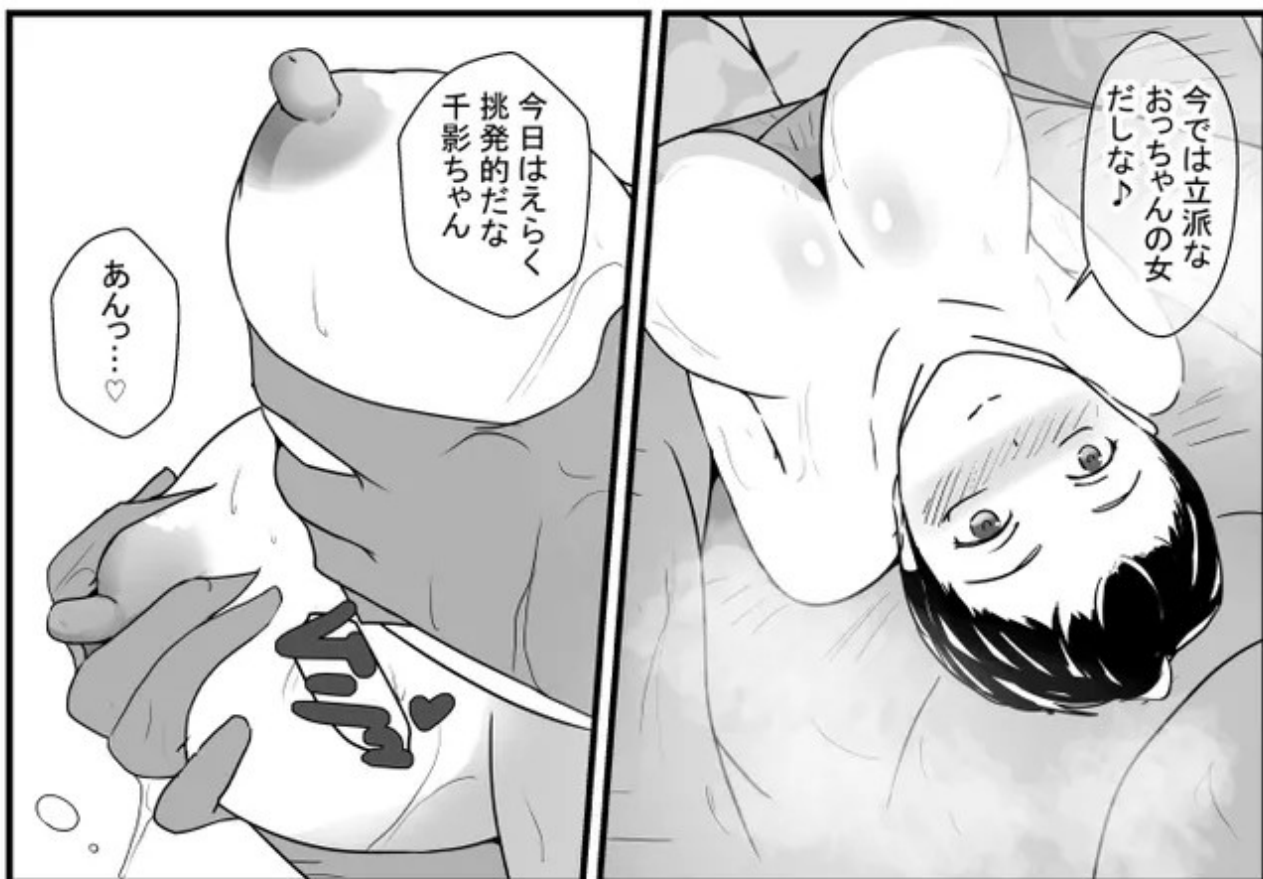
うん



とっても可愛いぞ
千影ちゃん

……♡











出るッ…

わっ…勢いすご…
手から漏れた

おっちゃん
出しすぎだろ

うわっ…マジで
すっごいなこれ
湯の中なのに
手に絡み付いてくる

あまりにも
気持ちよくてな

…そっか

おっちゃんの
精子…

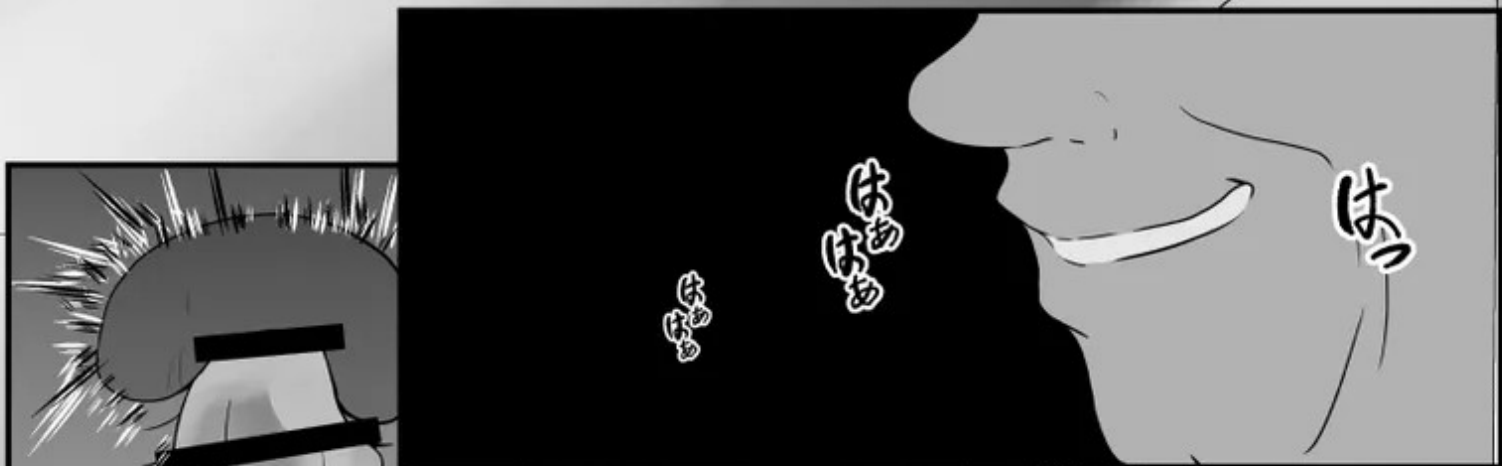
これなんか
俺が射精してる
みたいだ♡

ちよつと
勿体ない…

っ
■
■
■

ぐちゃ

へろ



まだまだだ
まだ足りない

本当に最高だ
千影ちゃん
また出るッ

何度やっても
勃起がおさまらない
ずっとハメてたいほど
気持ちいいぞ

奥すづ
イク
またイク

ズボッ

ズボッ



流石に疲れたな
ちよいと休憩
挟むか

でも最後の
一発抜いてから





千影ちゃん…



よし
終わった

…今日は本当に
楽しかったな



おっちゃん♡

ねろ♡



千影ちゃん…
今何してるんだろ…

おっちゃん♡
まだ大きいままだ♡



散々おっちゃんに
仕込まれたからな♡

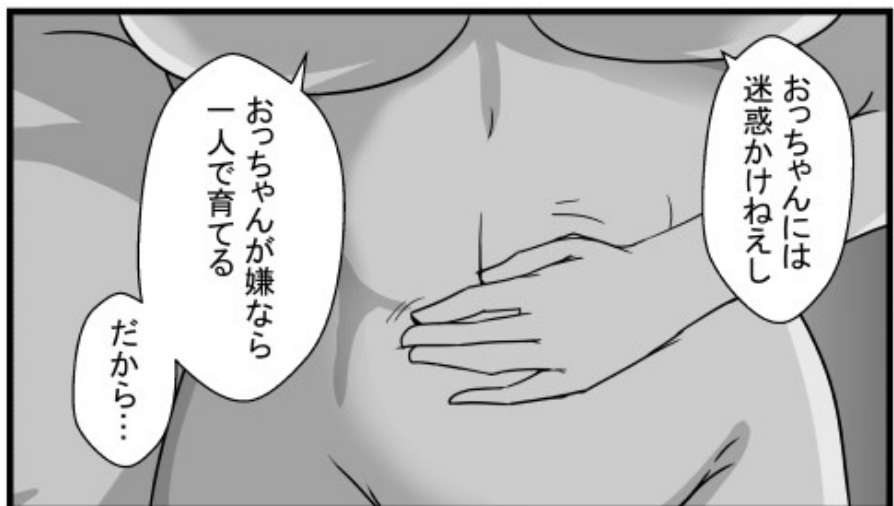
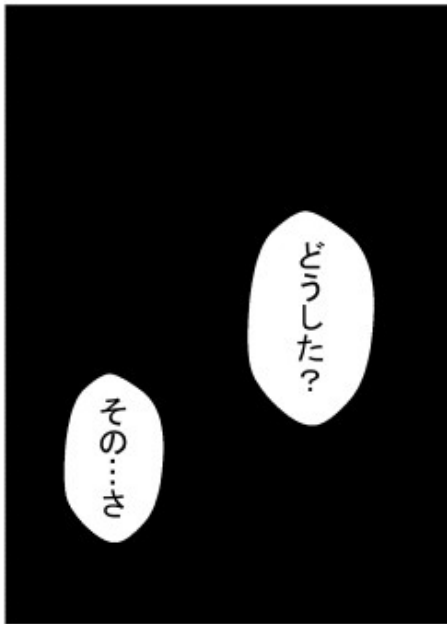
ねろ♡

はははッ
人間がが悪いな



千影ちゃん
フェラ上手く
なったな









ねえ、おっちゃん♡

またしたく
なつてきちゃった

早速赤ちゃん
作る♡

籍を入れるのは
卒業してからって

もうすぐ卒業
だから今孕んでも
大丈夫だよ♡

まったく
仕方がないな
本当にスケベな子だ

おっちゃんの前だけ
だよ...





ズ
ッ
ッ
ッ
ッ
ッ

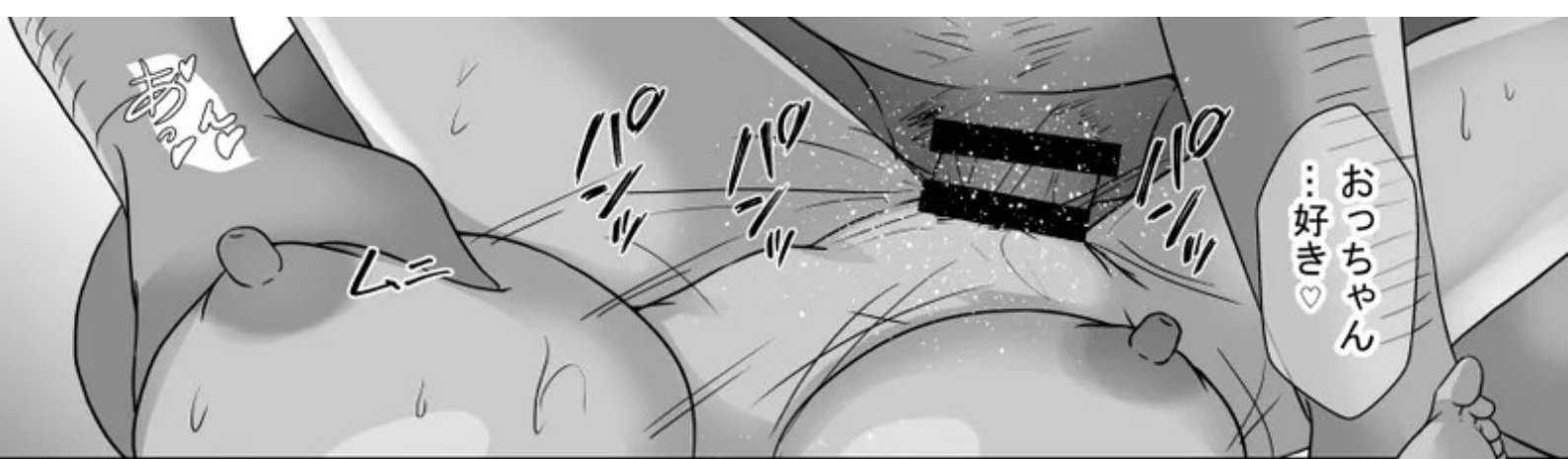
お、おおおッ…
これが千影ちゃんの中の感触…
あったかくてトロトロだ

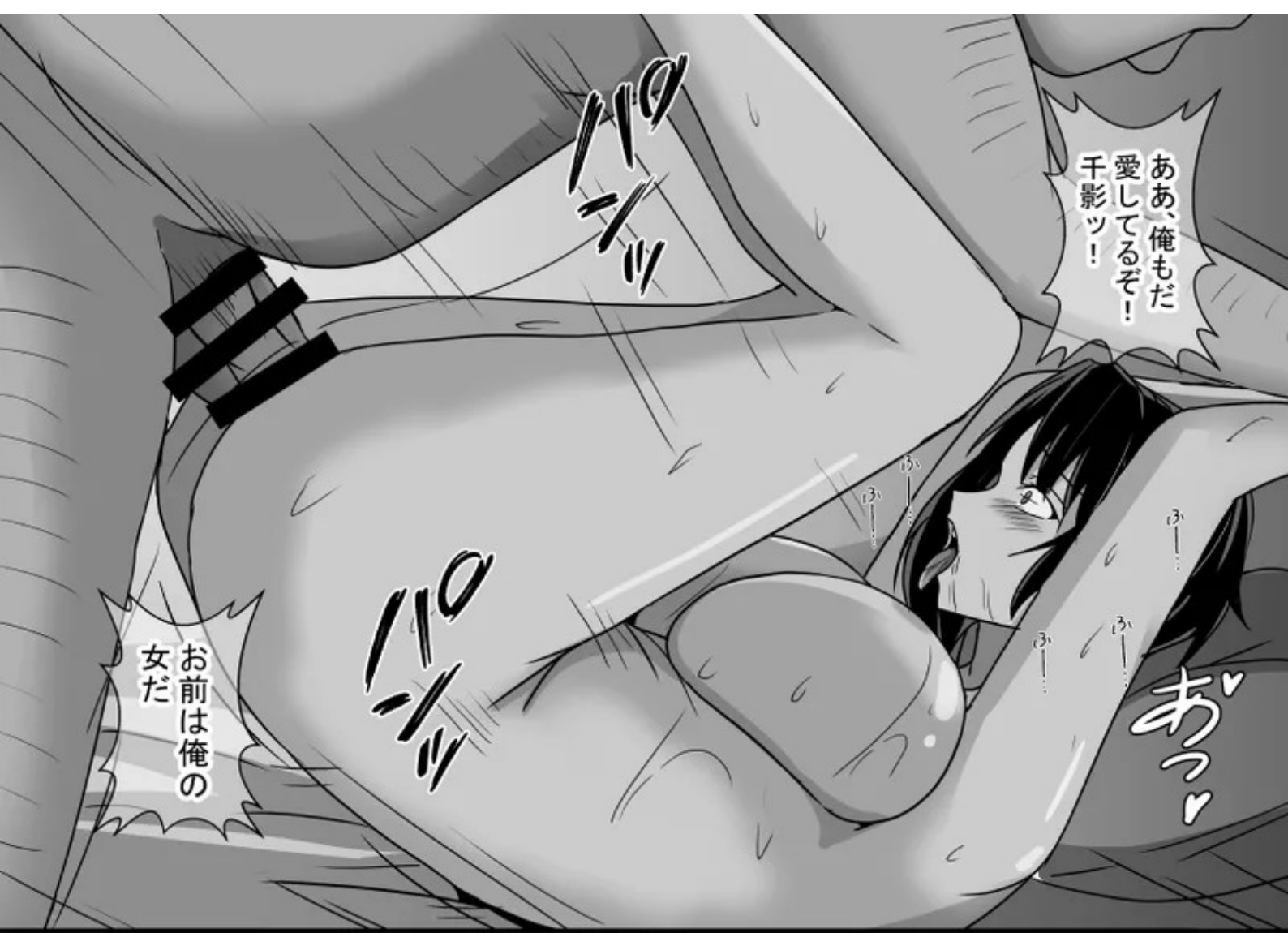
ああああッ…
おっちゃんの生のおちんちんが入ってきた…♡

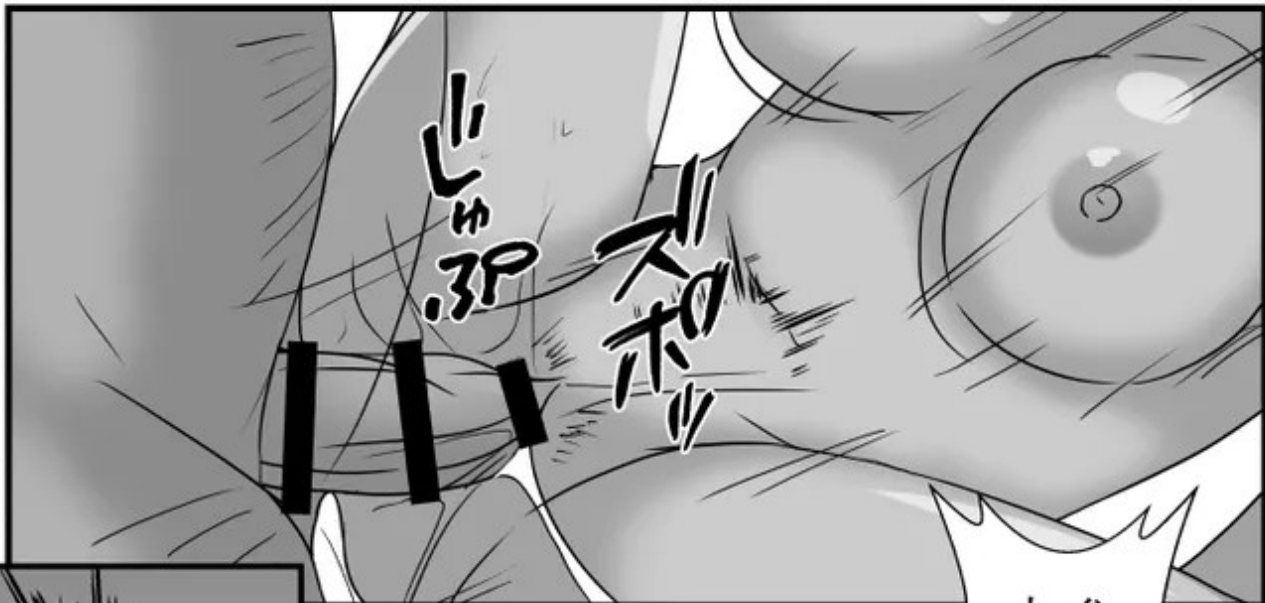
これ…すごい…
いれただけで
いっちゃった…♡











ぐっ…うううッ
もう出そうだ



うん♡
いいよおっちゃん♡

ハッ
ハッ

ハッ
ハッ



ああ、全部
出すぞ

俺の子を産んで
くれ
何人でもッ！



そのまま全部
中にちようだい♡

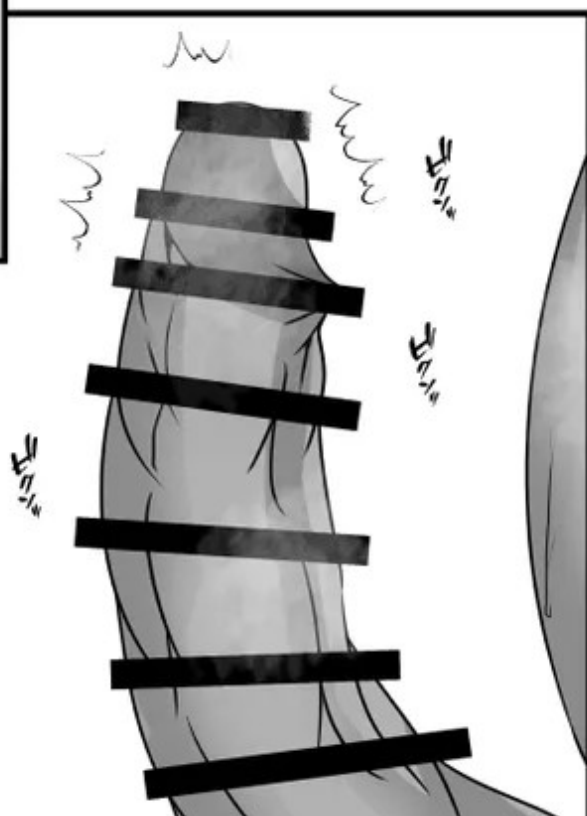
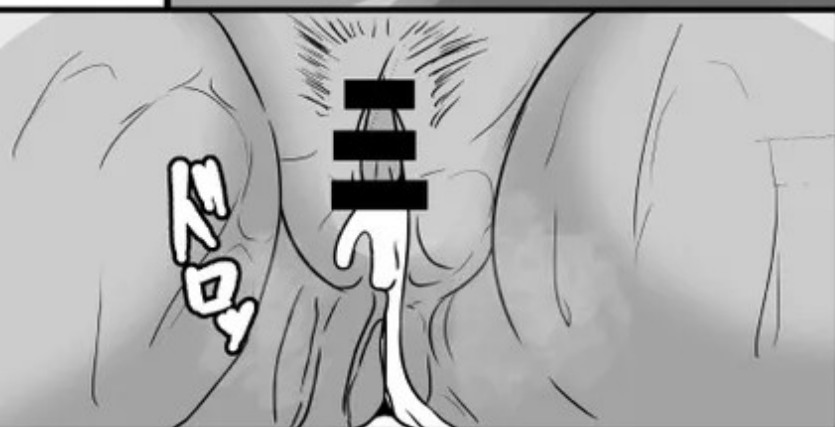
俺を孕ませて♡
おっちゃんのお嫁さんに
して…♡

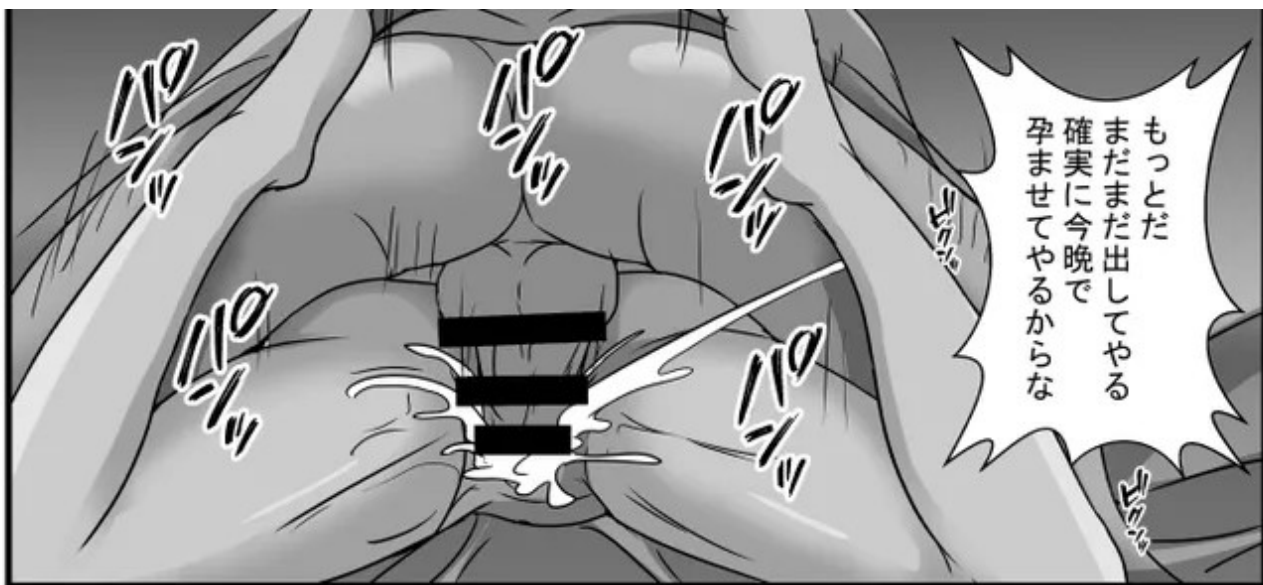


お腹の奥が
熱い…

出てる
おっちゃんの精子が
俺の中に…いっぱい
ドピュドピュしてる♡

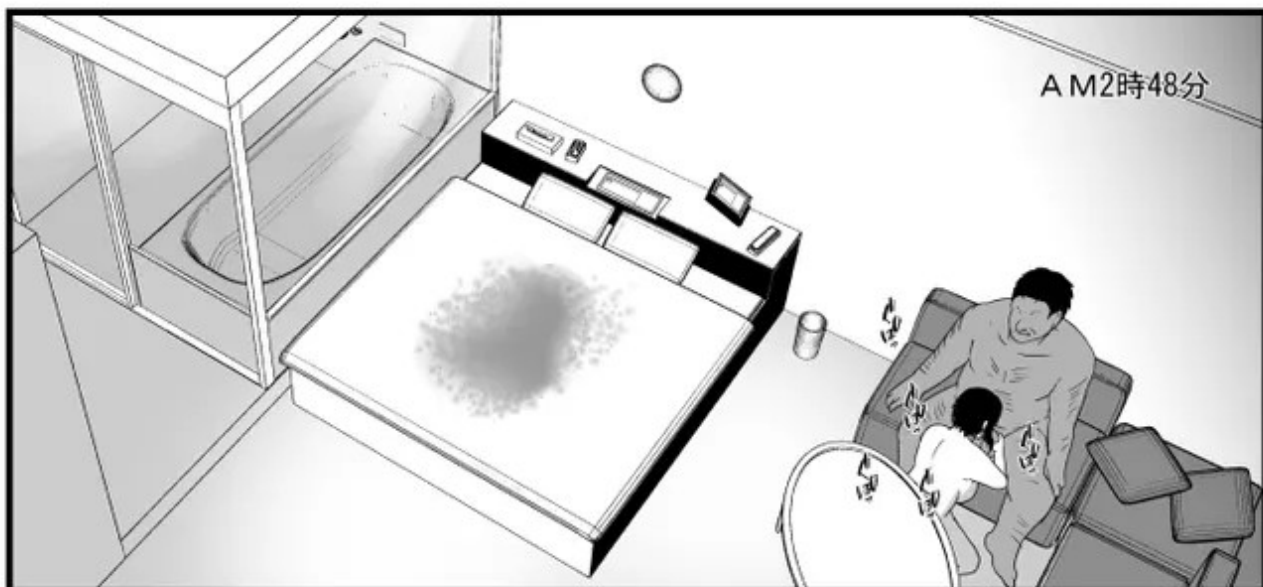
イッ
ア















おっちゃんの赤ちゃん
できたかな♡

あはは♡
すっげえいっぱい
出てる♡

キーン♡

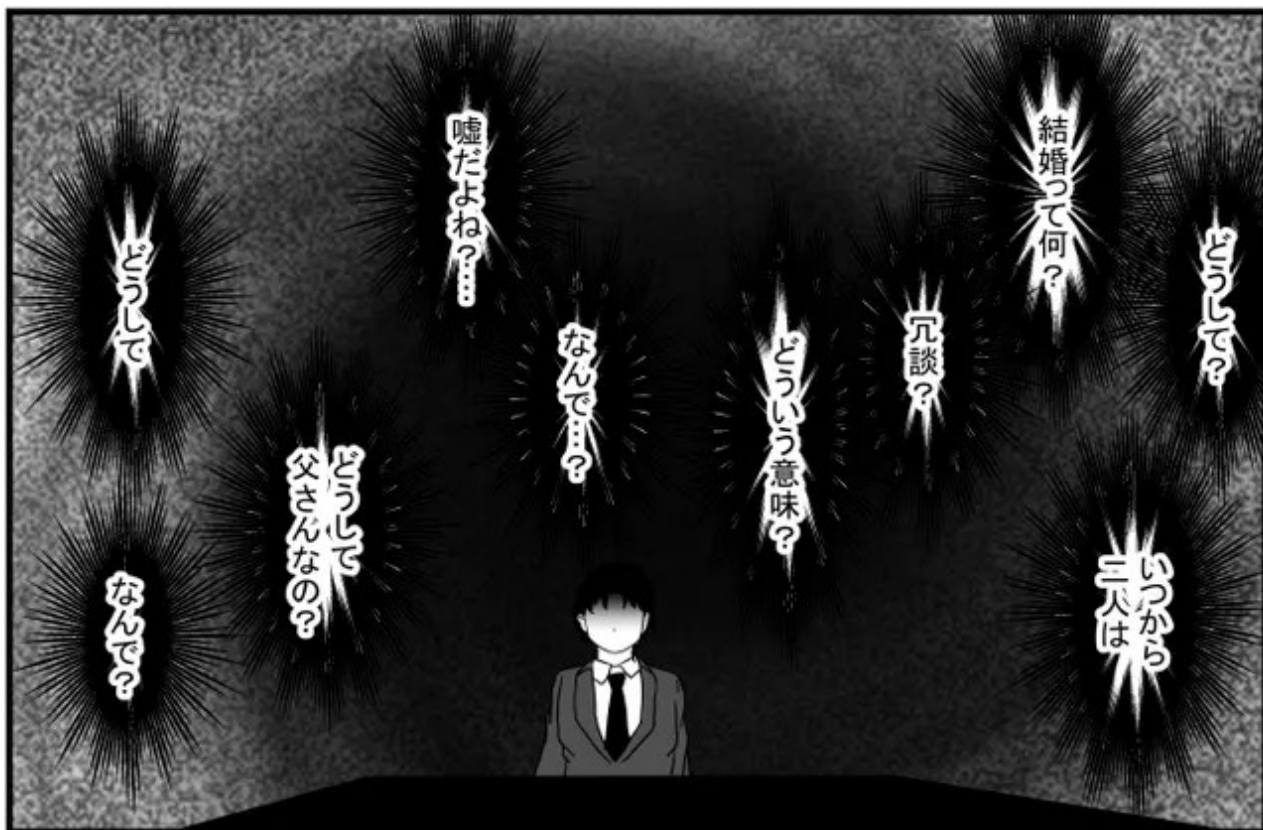
キーン♡

これだけ
出したら多分、な

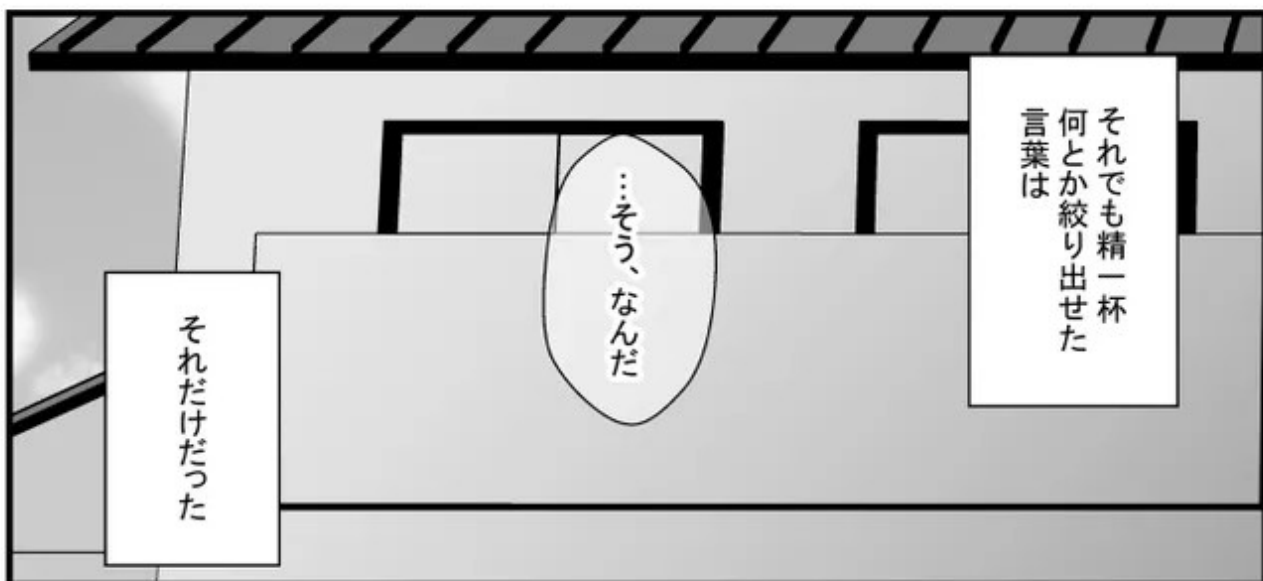
...







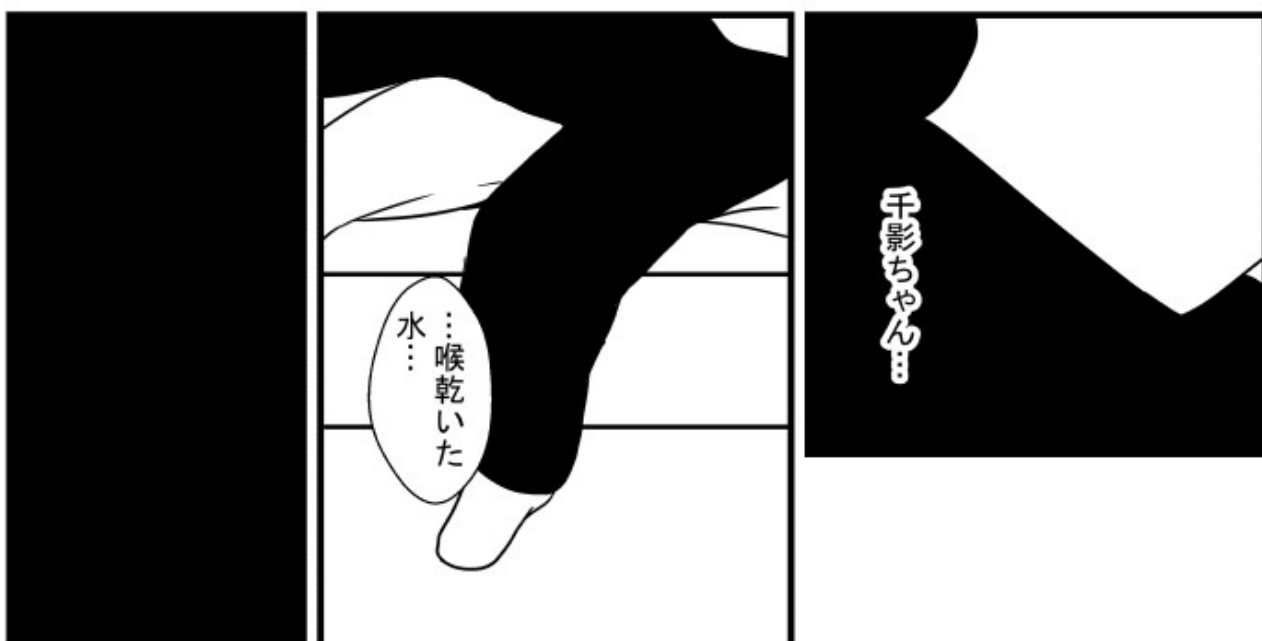
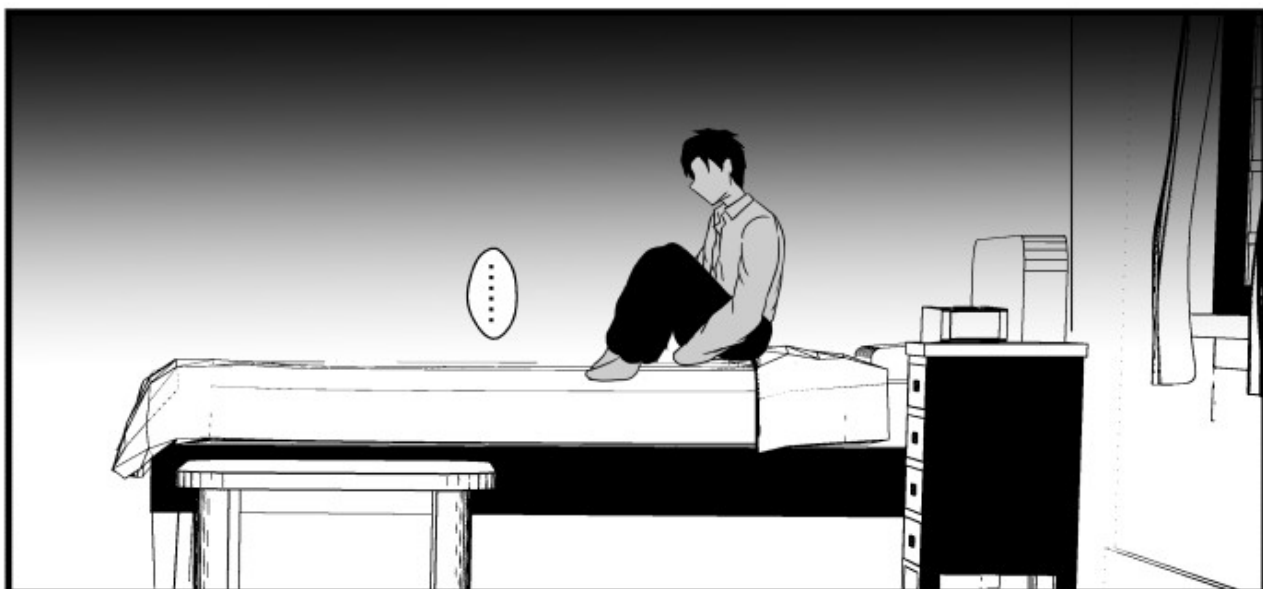
喉が詰まって
言葉が出ない

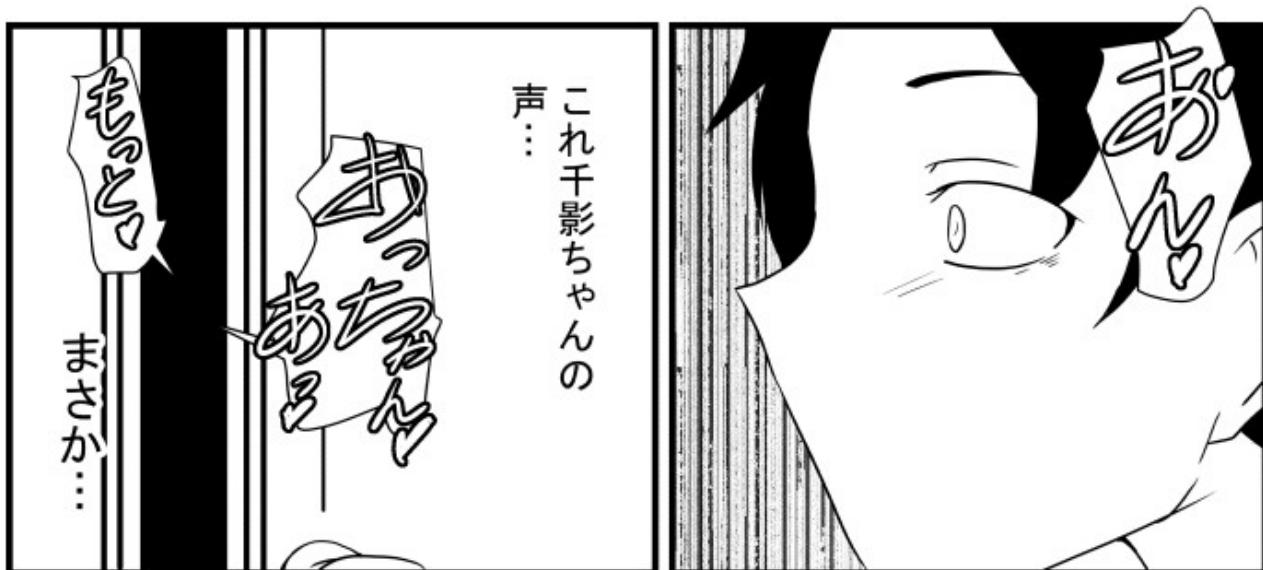


それでも精一杯
何とか絞り出せた
言葉は

…そう、なんだ

それだけだった











いっぱい出た♡
お腹の中も
おっちゃんの精子で
タプタプだ♡

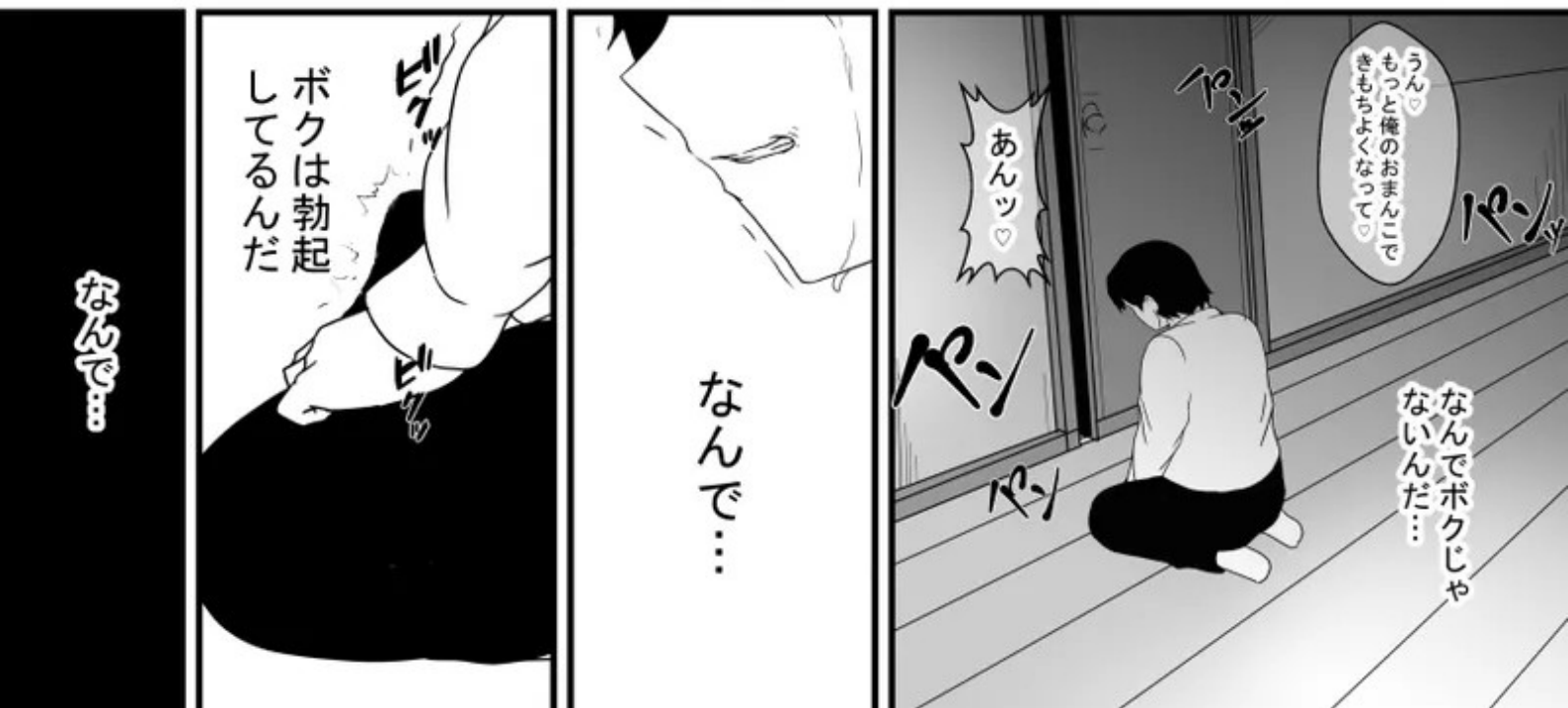
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

妊娠してるのに
激しすぎだよおっちゃん♡
お腹の子が
溺れちゃうかも♡

なんで父さん
なんだよ…

すまんな
だがまだ…



うん♡
もつと俺のおまんこで
きもちよくなってる♡

なんでボクじゃ
ないんだ…

あん♡

なんで…

ボクは勃起
してるんだ

なんで…

あれから
半年が経った

ただいま

おかえり
すばる

僕は学校を
卒業し、春から
大学生だ

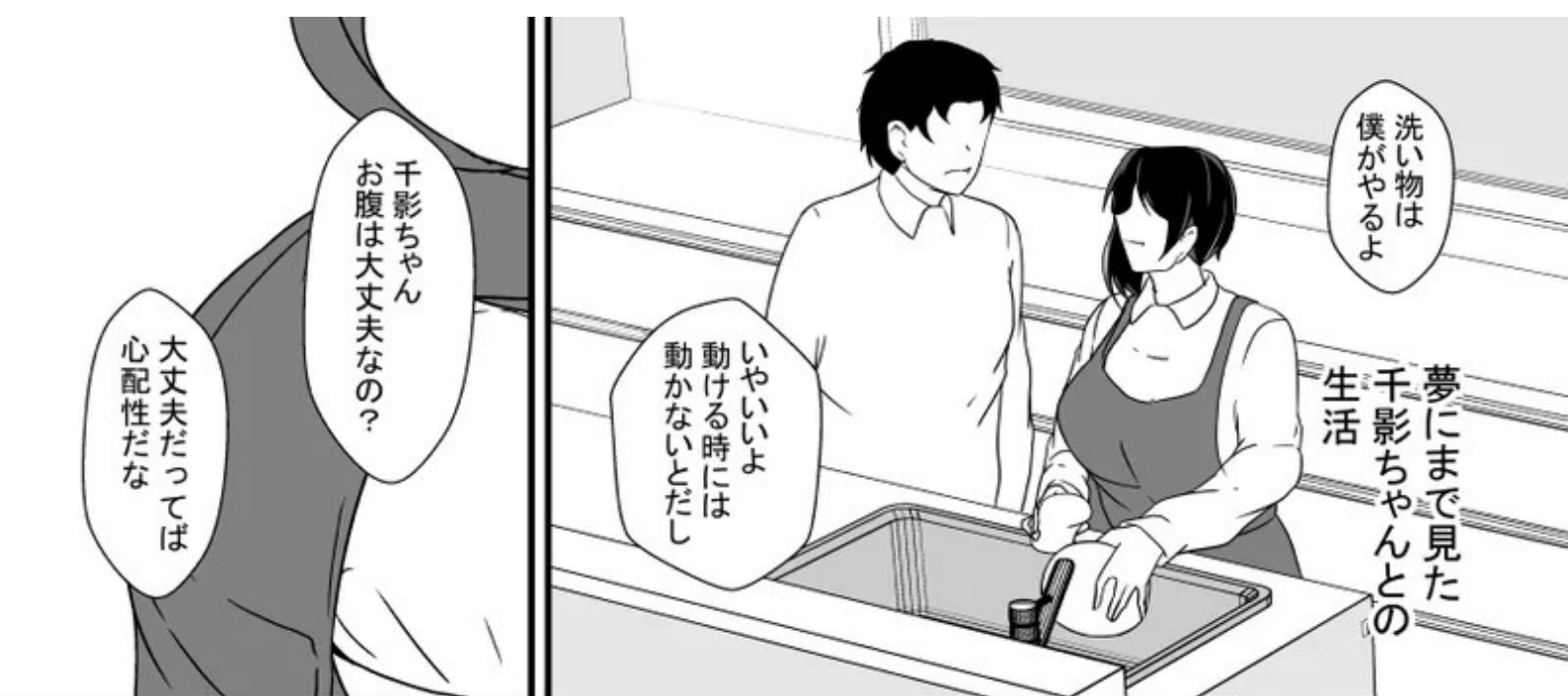
今僕の家には
千影ちゃんがいる

お腹の中には
父さんの子供だ

千影ちゃんは進学せず
そのまま父さんと
結婚した

飯はもう
出来てるからな
手洗って食卓に来いよ

一緒に大学行くために
頑張ってたのに



でもその隣にいるのは
僕じゃない





毎晩一人で
オナニーしている



それを思い出し
ながら



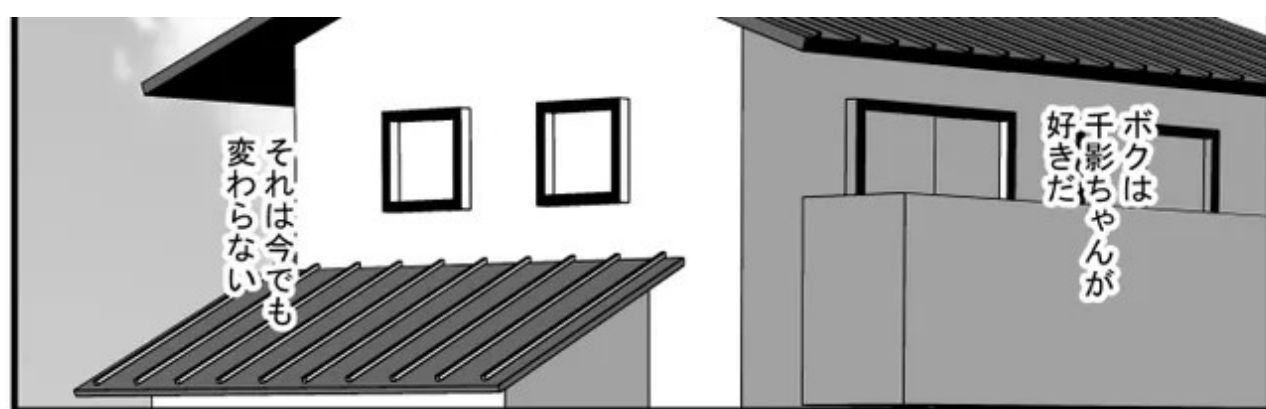
胸が締め付けられる
ように苦しいのに
千影ちゃんと父さんの
セックスを覗き見るのを
やめられない

そして…
それを思い出しながら
オナニーも…

沢山出した後
ふと我に返り
泣きそうになる

死にたくなる

胸が苦しい
なんで僕は
もっと早く…



もしボクが
もっと早くに
勇気を振り絞って
アプローチしたら！

千影ちゃんの隣に
いたのはボクだった
可能性はあったのかな？